



盛り上がった南高祭も終わり、夏休みに向けて1つの区切りを迎えました。前回の進路通信でもお伝えしましたが、自分の進路目標達成に向けて「**これまでの意識を切り替える**」という時期です。正直、3年次は今からのスタートだと遅いのですが、早めに切り替えてスタートした受験生にこれ以上遅れをとらないように、これからの1日、1時間を大切にしてください。今後1学期の成績も届きます。**1・2年次は自分の学習を見直す機会です。**

1年次のスタディーサポート分析会について

4月9日に実施したスタディーサポートの結果を受けて、ベネッセから石山さんを招き、6月12日に分析会を実施しました。その分析を受けて、お伝えしたいことがあります。

まず、保護者の皆様もお子様の成績をクラッシーで確認できます。「GTZ」という項目が、「A1～3」＝「国公立大学合格レベル」、「B1～3」＝「もう少しで合格レベル」という基準です。「C～D」の生徒は自分の勉強時間や勉強法について、早めに見直してください。

今回、非常に特徴的なこととして進路希望の「**未定**」が前年より**6%ほど増加**しており、**約40名（1クラス程度）が「未定」という進路希望**です。これは5月に本校で実施した進路志望調査でも同様で、早めの対策が必要だと考えています。データとしても明らかなことですが、「**目標**」が定まっている生徒は、「**勉強**」にも「**校外活動**」にも**意欲的に取り組みます**。夏休みの保護者面談や校外活動を利用し、早期に進路目標を決めてください。

弘前大学オープンキャンパス（8月8日 10:00～15:00）に参加してみよう

「進路目標を決めよう」「校外活動に参加してみよう」と言われても「どんな学問・分野があるのか分からない」という生徒の皆さんは、**弘前大学オープンキャンパスに参加してみてください**。3年生は「勉強が忙しく、そんな暇はない」と思いますが、1・2年生の皆さんは是非、積極的に参加しましょう。事前に「**自分だけの見学スケジュールを決め、見学する学問・分野を調べてから参加する**」と効果的です。**友人と一緒に参加するのは、あまりお勧めしません**。友人の予定に流されて、自分が見たかったものを中途半端に見てしまう可能性があります。オープンキャンパスには、必ず入学した先輩方（南高の卒業生もいるはず）が役割を担当していて、参加者に色々と親切に教えてくれるコーナーもあります。「おしゃべり」気分で、気軽に自分の進路の悩みを話してみると、高校生目線で答えてくれます。**その日だけは、いつも話をする友人ではなく、積極的に大学生に話しかけてみてください**。特に1年生は、まず参加して大学の雰囲気に触れてみましょう。「やりたいこと」が見つからなくても、「大学で見つける」「まずは大学に進学してみる」という目標が生まれるかもしれません。私は、本当に将来やりたいと思えることは、大学で見つける方が自然だと考えています。文理選択で選んだ類型の学問・分野について、「**1つずつ見て回る**」「**入学した先輩と話してみる**」「**キャンパスツアーに参加する**」など、キャンパスを**実際に歩き、大学生と話し、学食で昼食をとり、模擬講義に参加してみてください**。

事前に申込みが必要なプログラムもあります。すでに弘前大HPで公開されています。

2年次で「出前講義」を実施しました

6月25日（木）午後、2年次で出前講義を実施しました。大学教員による専門分野の講義を受け、大学の雰囲気に触れ、学問への興味を高めることをねらいとしています。

今年度は、青森公立大、青森県立保健大、弘前大、岩手大、公立はこだて未来大、札幌国際大、東北学院大、東北福祉大、奥羽大、柴田学園大学短期大学部の10大学から講師を招いて実施しました。生徒の皆さんは希望した大学の講義を聴き、それぞれ感じたことがあったと思います。下の写真でも分かる通り、**前向きに参加してくれた生徒が多かったです。これを機に、その大学のオープンキャンパスや学校説明会に夏休みを利用して参加してみてください。**また、卒業した先輩の合格体験記を読むと、「興味がある分野の本を1冊読んでほしい」と書いてあります。**特に特別選抜受験を考えている生徒は、夏休みに1冊必ず読んでみましょう。**それが特別選抜入試に向けたスタートになる気がします。



夏休みは「英語」の勉強に力を入れてください（弘前南高校：英語科より）

夏休みは学校生活において、自分がコントロールできる時間が比較的多くあります。この夏を利用して自分の学習スタイルを作り上げ、とりわけ英語に力を入れてみませんか。英語は**日頃からコツコツ積み重ねなければ身につかない性質なので伸びるまで時間も要します。**まずは短期目標を掲げて、毎日勉強する習慣を身に付けることが一番の近道です。

「予習」が大切なのはもちろんですが、一番大切なのは実は**「復習」**です。授業で理解したつもりになるけれど、翌日には残っていない。そして新たな項目がその上に積み上げられる。結果的には土台がかなり緩い状態になっているのです。授業で理解できたことを次のステップにつなげなければ勿体ないですね。

まず**徹底して英語を復習する時間を作ってください。**強化したい項目や単語帳のページを決めて、手元の教材に徹底的に取り組むことが大事です。

1年次・・・高校に入学して学ぶことは、中学校英語の上に成り立っています。これまで授業で学んだ項目を学び直すことで、中学校の文法を振り返りましょう。

2年次・・・これまで習った単語や文法・イディオムを相当忘れていていると思います。文法で、一度やった教材（「論表1」ワークなど）を、どれか1冊徹底的にやり直してみましょう。

3年次・・・英語は避けられません。単語や文法・イディオムの定着が、英文理解のスピードアップや、誤読の減少につながります。昨年度の文法テキストレベル（オレンジ）、英単語の標準レベルを徹底的に復習しましょう。